



# 令和 4 年度 スキャンツール補助金用 診断データ作成方法について

# 令和4年度 スキャンツール補助金用診断データ作成方法について

## G-SCAN Z 診断レポート作成手順

下記内容での作成例を記載

- ・メーカー名：トヨタ
- ・車名：レジアスエース
- ・型式：KDH206V
- ・エンジン型式：1KD-FTV
- ・年式：'07.08～'08.08（H19.08～H20.08）
- ・診断内容：パワートレイン・エンジン(TCCS) の自己診断

### 1. 「車両診断」を選択



## 2. 該当メーカーを選択



## 3. 該当車両情報を選択



4. 診断するシステムを選択後、「実行」を選択



5. 診断メニュー表示後、「自己診断」を選択





## 6. 診断結果が表示された画面で「レポート作成」を選択



## 7. 診断レポート表示画面で「新レポート作成」を選択



## 8. 必要情報を入力

※車両の型式、車両番号（ナンバー）または車体番号の情報が必須となります

車両診断レポート		
車両名 トヨタ/車種選択/レジアスエース/KDH206V/1KD-FTV/07.08～08.08(H19.08～H20.08)/パワートレイン/エンジン(TCCS)		
会社名 インターサポート	顧客名 茨城 太郎	
住所 茨城県水戸市城南1-6-39	ナンバープレート 水戸100わ1234	
整備士名 水戸 太郎	VIN(車台番号) KDH206V-8004004	
電話番号 0293038021	ファックス 	年式 平成20年9月
Eメール s@s	ホルメーター 120043.8	車両型式 KDH206V
保存		

※予め「本体設定」の「ユーザー情報」を入力することにより  
会社情報の入力を省略することができます。

The screenshot shows the '本体設定' (Main Settings) screen. The 'ユーザー情報' (User Information) section is highlighted with a red rounded rectangle. It contains the following fields:

ユーザー情報	
名前:	水戸 太郎
会社名:	インターサポート
電話番号:	0293038021
Eメール:	s@s
住所:	茨城県水戸市城南1-6-39

Below the fields is a '保存' (Save) button. To the right of the main form is a vertical sidebar with function keys F1 through F6 and a '次へ ↓' (Next) button:

- F1: バージョン
- F2: 言語
- F3: 単位
- F4: セルフテスト
- F5: ユーザー情報 (highlighted)
- F6: 画面表示
- 次へ ↓

The top status bar shows the time 15:58 and battery level 92%. The bottom navigation bar contains standard Android icons: back, home, recent apps, settings, and a camera icon.

## 9. 「保存」を選択

15:32 診断レポート 92%

車両診断レポート

車両名  
トヨタ/車種選択/レジアスエース/KDH206V/1KD-FTV/'07.08~'08.08(H19.08~H20.08)/ハイブリッド/エンジン(TCCS)

会社名  
インターサポート

顧客名  
茨城 太郎

住所  
茨城県水戸市城南1-6-39

ナンバープレート  
水戸100わ1234

整備士名  
水戸 太郎

VIN(車台番号)  
KDH206V-8004004

電話番号  
0293038021

ファクス

年式  
平成20年9月

Eメール  
s@s

ホメーター  
120043.8

車両型式  
KDH206V

保存

## 10. 修理前スキャン結果の「追加」を選択

15:33 診断レポート 92%

追加

日付 ↓

A. ↓

☐ 全選択

印刷

Eメール

PDFとして保存

+ 新レポート作成

<input type="checkbox"/>	トヨタ 9月-15-2022 15:29:17	車種選択/レジアスエース/KDH206V/1KD-FTV/'07.08~'08.08(H19.08~H20.08)/ハイブリッド/エンジン(TCCS) 顧客名 茨城 太郎 VIN(車台番号) KDH206V-8004004 ナンバープレート 水戸100わ1234	修理前スキャン結果 未保存 追加	修理後スキャン結果 未保存 追加	コメント/添付 未保存 編集	×
--------------------------	-------------------------------	--	------------------------	------------------------	----------------------	---



1 1. 保存しますか？と表示されるので「OK」を選択する



1 2. 保存完了のメッセージを確認して「OK」を選択

修理前スキャン結果のボタンが「追加」から「上書き」に切り替わります。



### 1 3. 作成したレポートの空いているスペースをタッチ



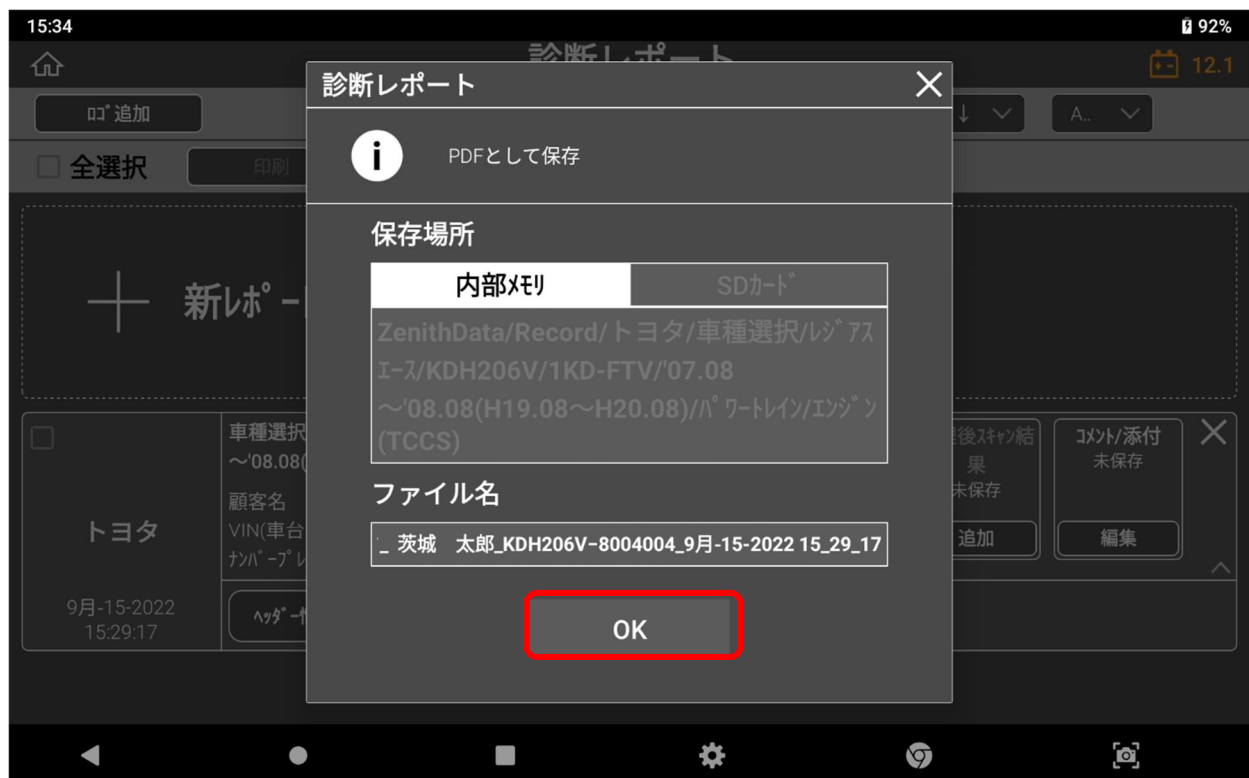
### 1 4. 表示された項目から「PDFとして保存」を選択



1 5. 「修理前スキャン結果」にチェックを入れ「保存」を選択



1 6. 「OK」を押して完了となります。



15:34

92%



## 診断レポート

12.1

追加

日付 ↓

A..

☐ 全選択

印刷

Eメール

PDFとして保存

+ 新レポート作成

<input type="checkbox"/>	車種選択/エンジン/KDH206V/1KD-FTV/'07.08 〜'08.08(H19.08〜H20.08)/パワーTRAIN/エンジン(TCCS) 顧客名 茨城 太郎 VIN(車台番号) KDH206V-8004004 ナンバープレート 水戸100わ1234	修理前スキャン結果 9月-15-2022 15:33:42 追加	修理後スキャン結果 未保存 追加	コメント/添付 未保存 編集	×
トヨタ 9月-15-2022 15:29:17	ヘッダー情報編集	印刷	Eメール	PDFとして保存	↑

保存が完了しました

## CSV ファイル抽出方法

ここでは作成された診断レポートを CSV ファイルで抽出するための手順をご案内致します。

下記内容での診断レポートを基にした抽出例を記載

- ・メーカー名：トヨタ
- ・車名：レジアスエース
- ・型式：KDH206V
- ・エンジン型式：1KD-FTV
- ・年式：'07.08～'08.08（H19.08～H20.08）
- ・診断内容：パワートレイン・TCCS（エンジン）の自己診断

### 1. G-SCAN Z に外部メモリ(USB メモリなど)接続する

接続が完了すると、画面左上に外部メモリアイコンが表示されます。



## 2. 「設定」ボタンを選択

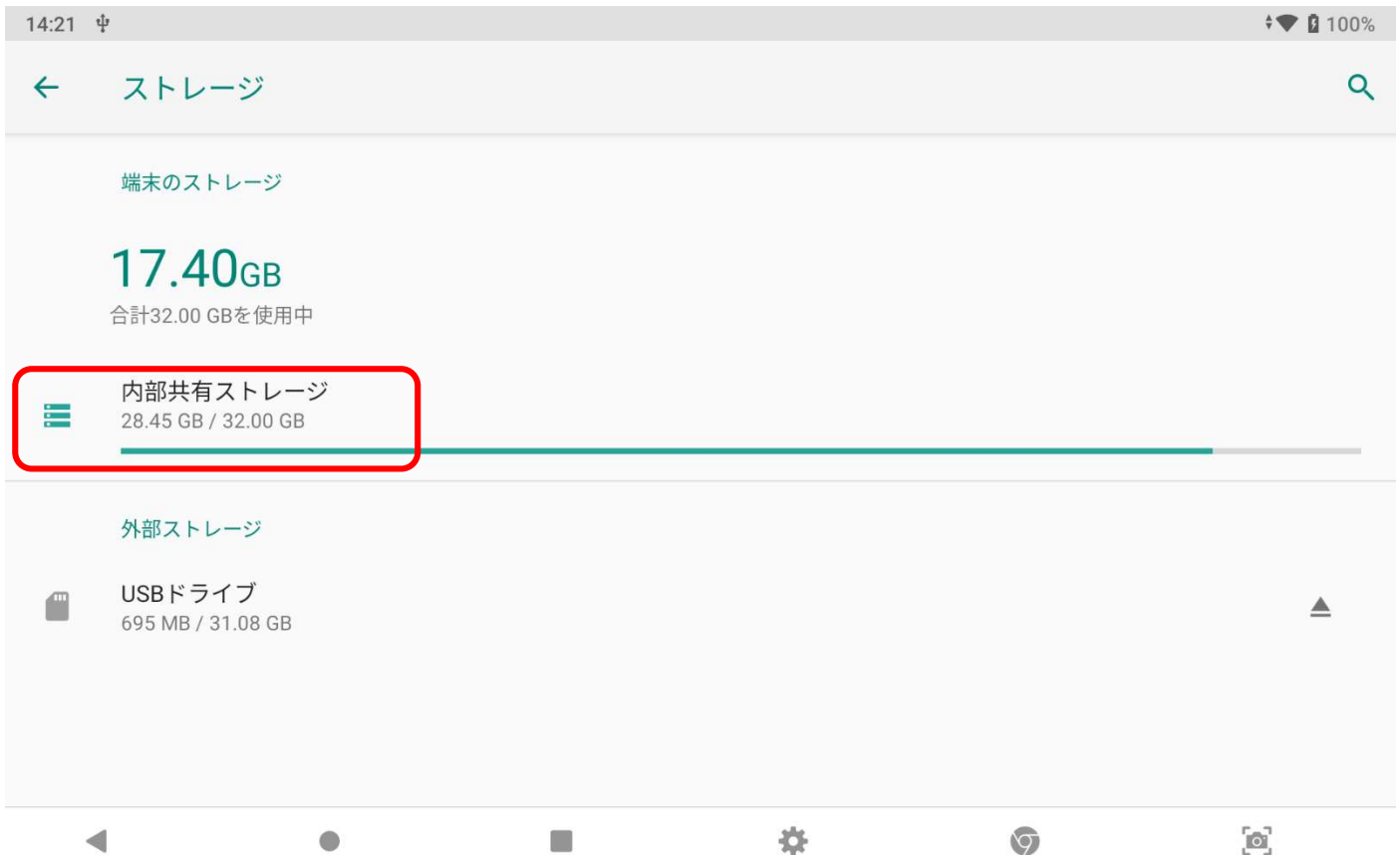


## 3. 「ストレージ」を選択

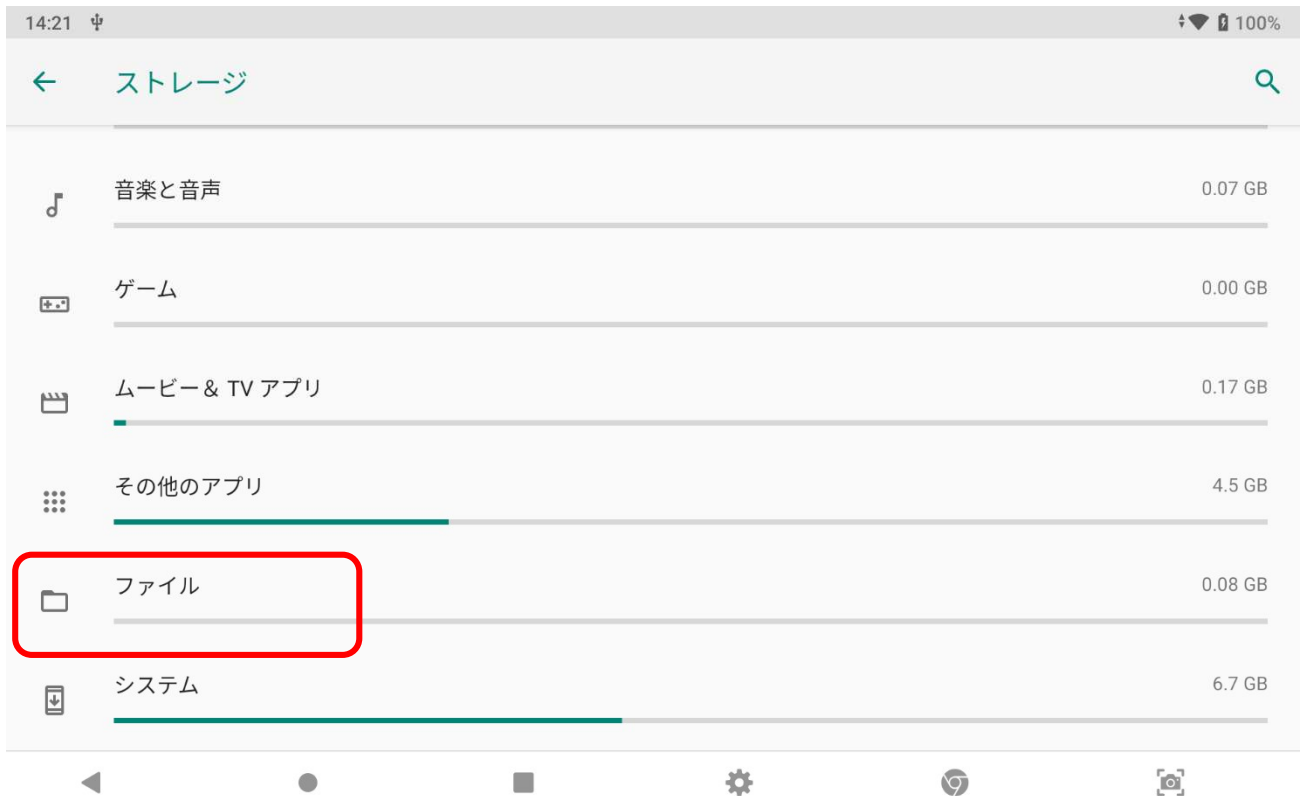




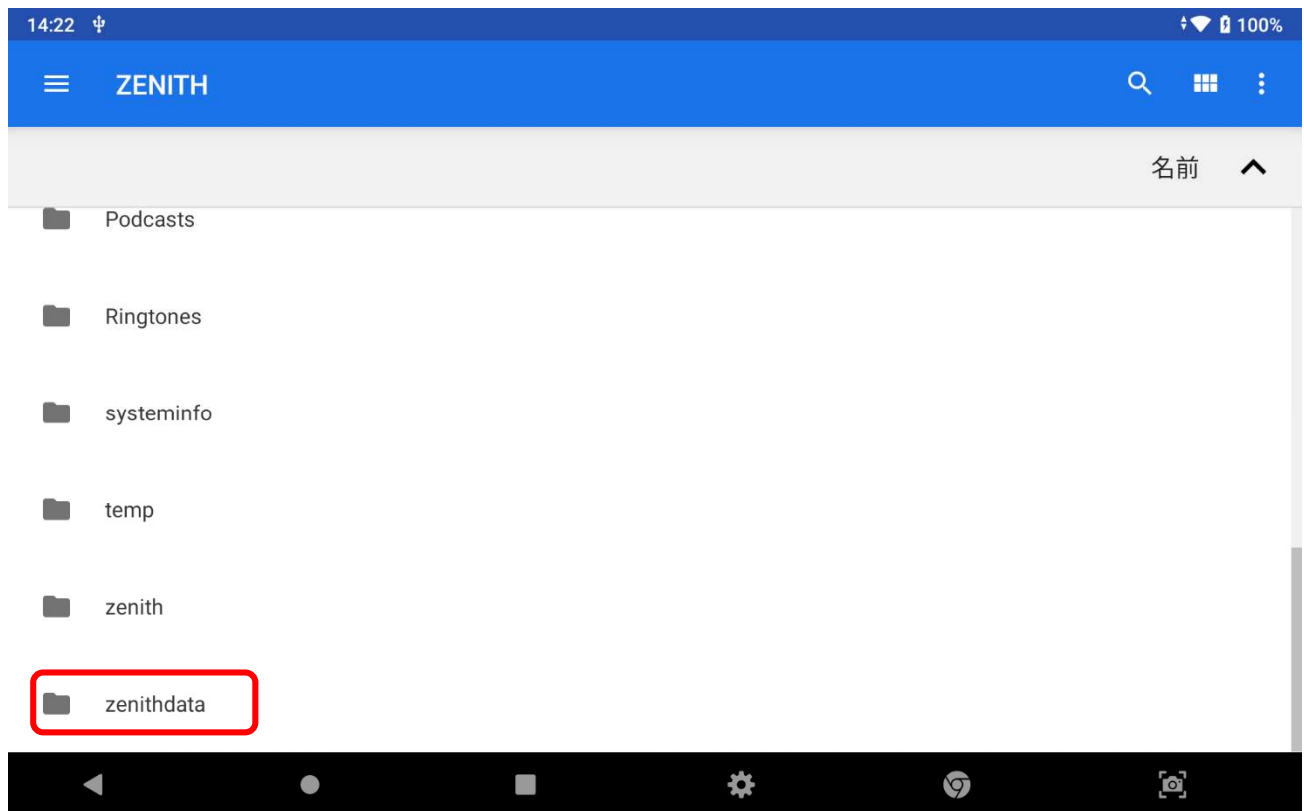
#### 4. 「内部共有ストレージ」を選択



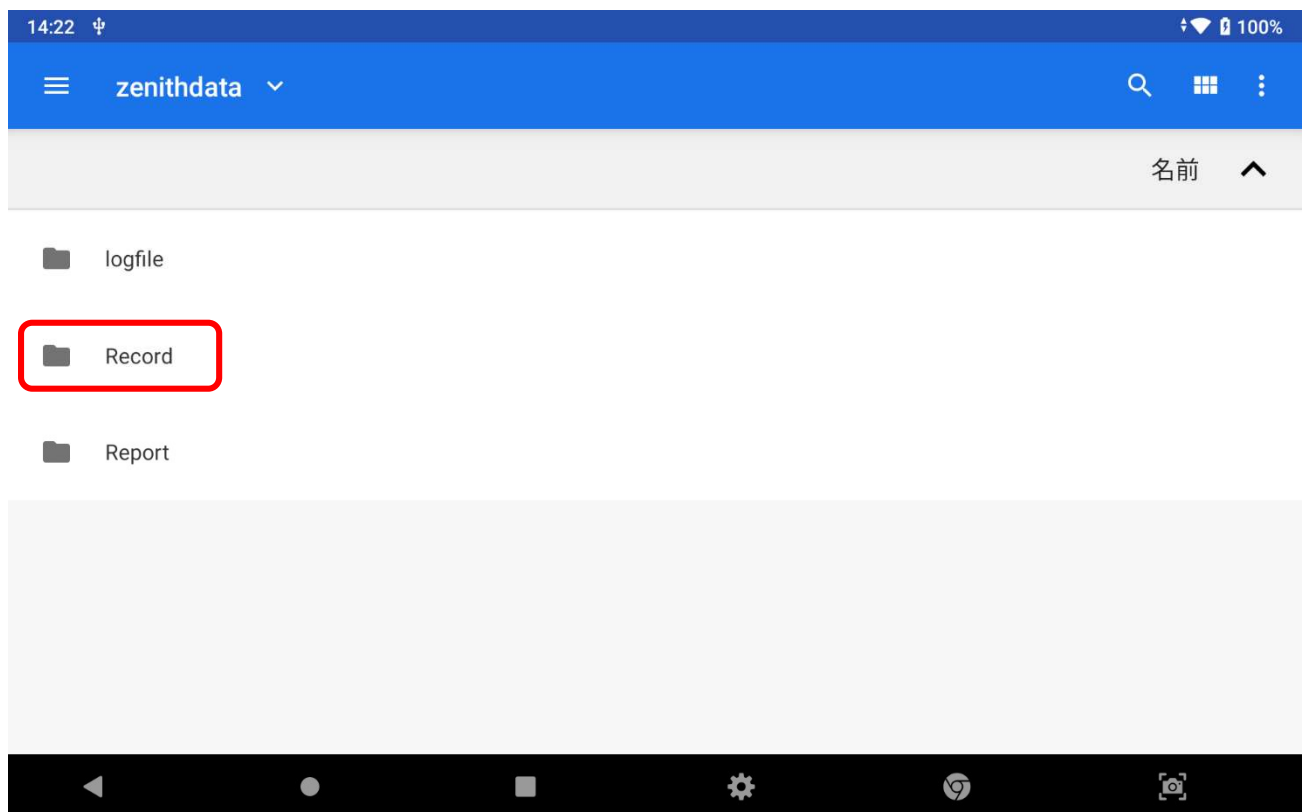
#### 5. 「ファイル」を選択



## 6. 「zenithdata」フォルダを選択

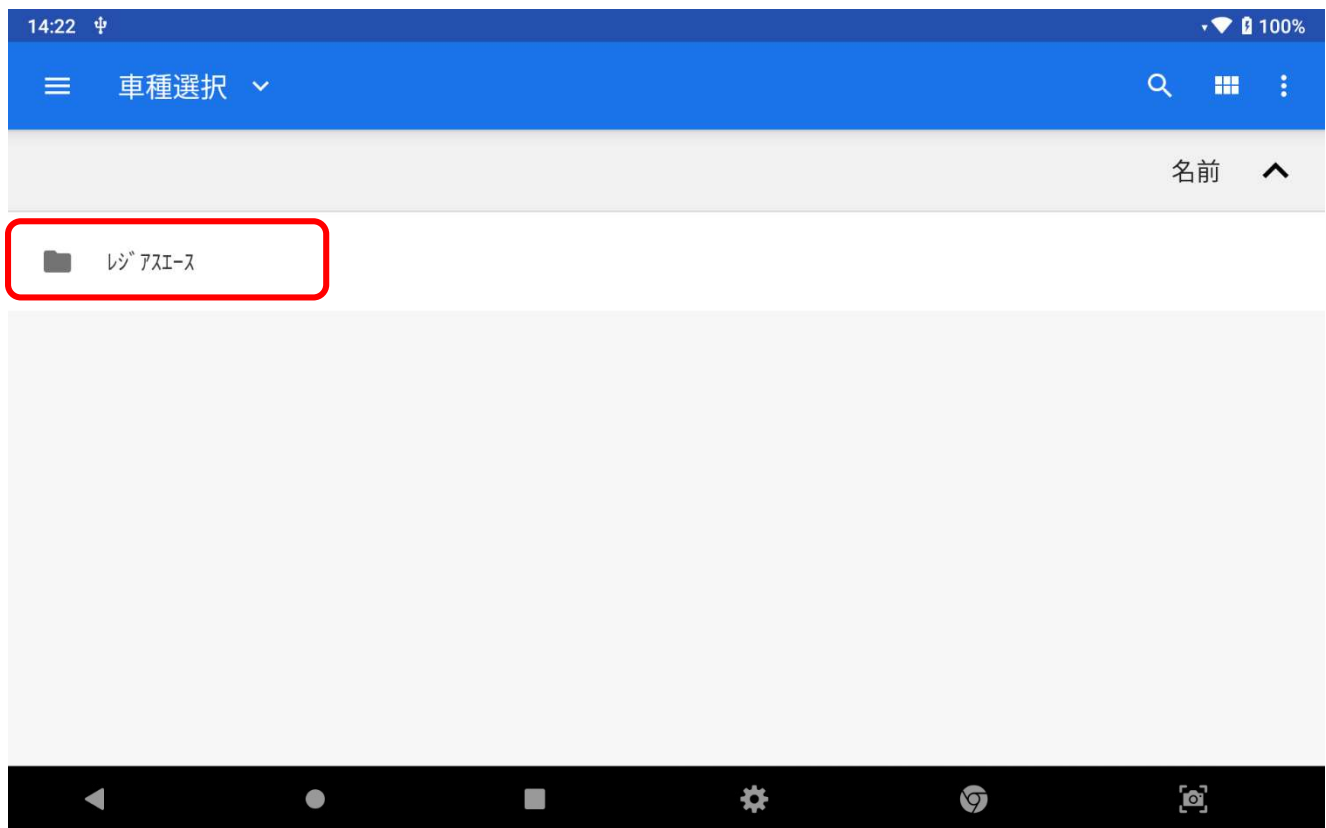


## 7. 「Record」フォルダを選択

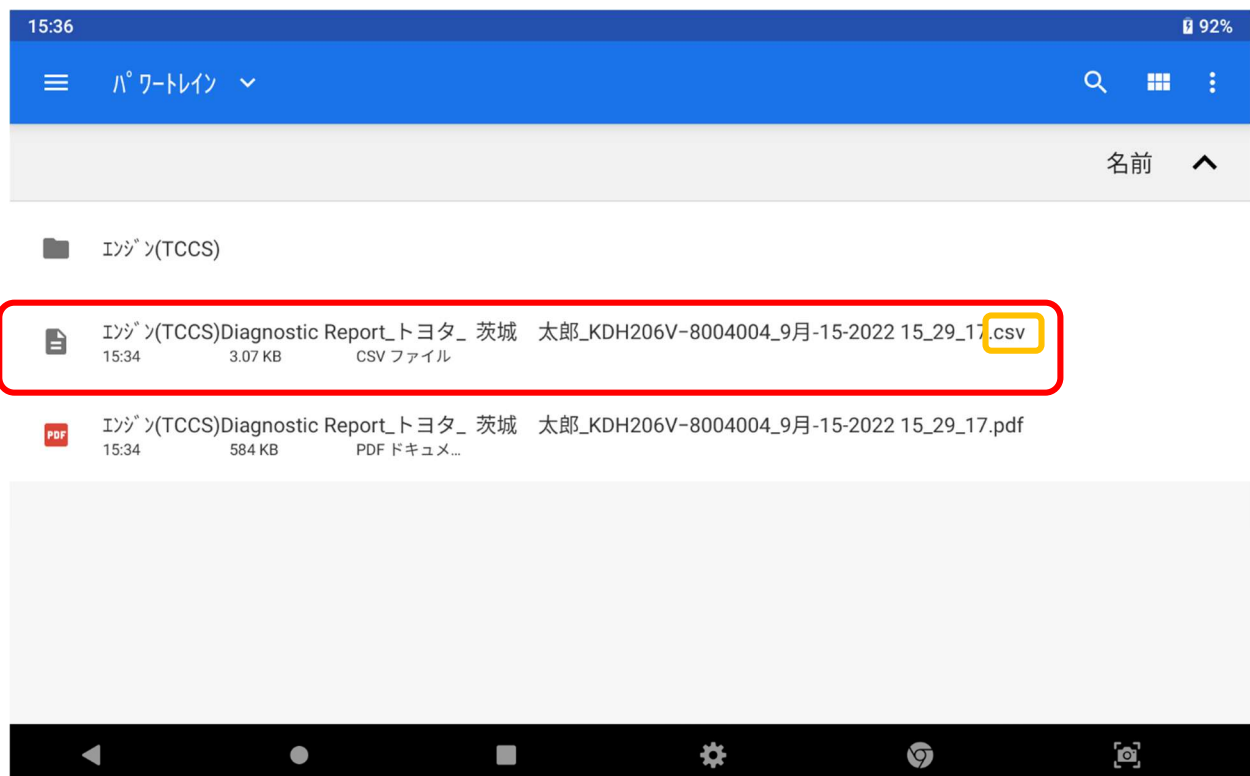


## 8. 診断データを作成したメーカー、車種情報を選択

※診断レポート作成時にファイル名を変更した場合この限りではありません

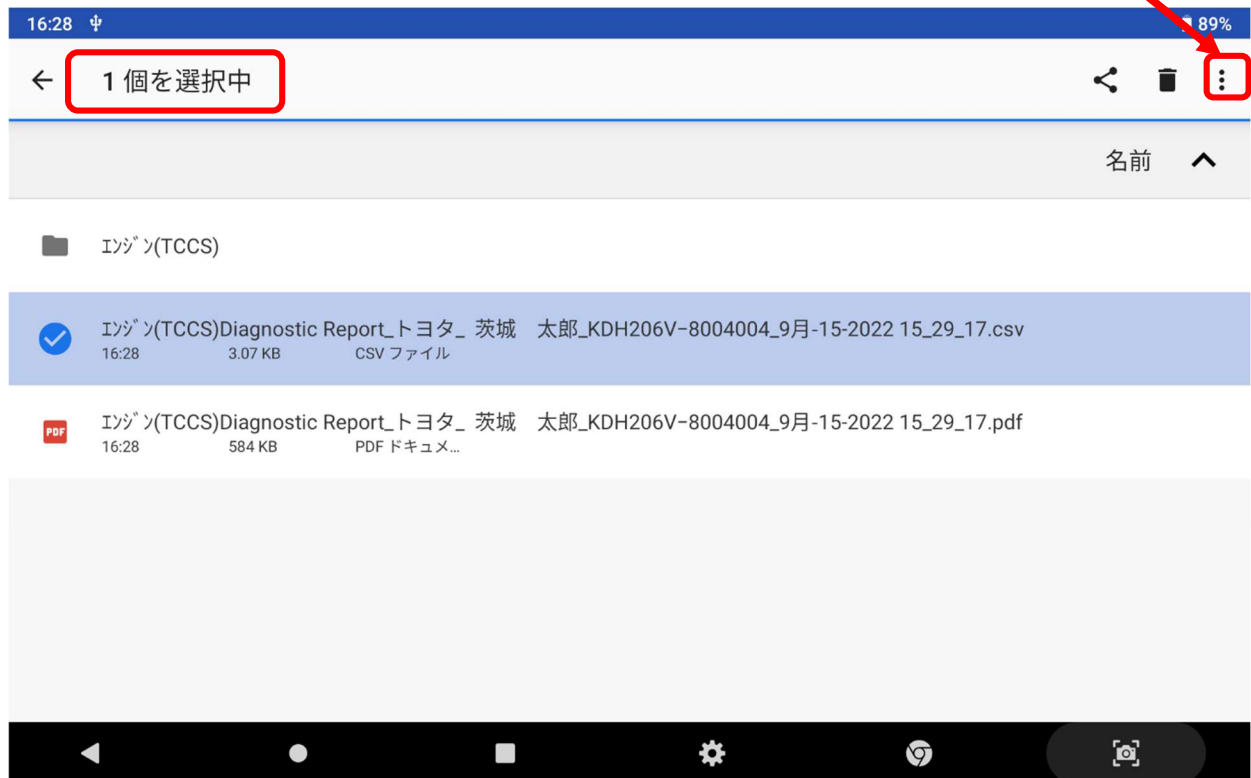


## 9. 末尾が csv となっているファイルを 2 秒以上長押し

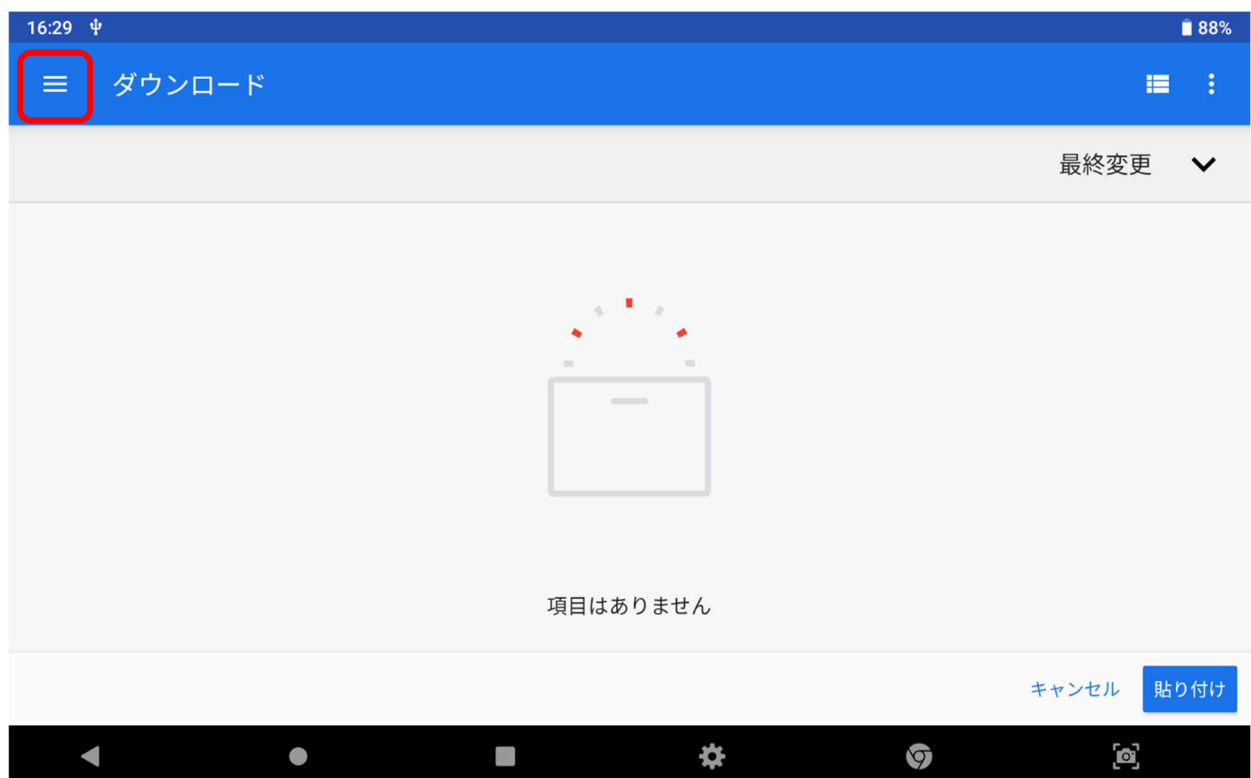


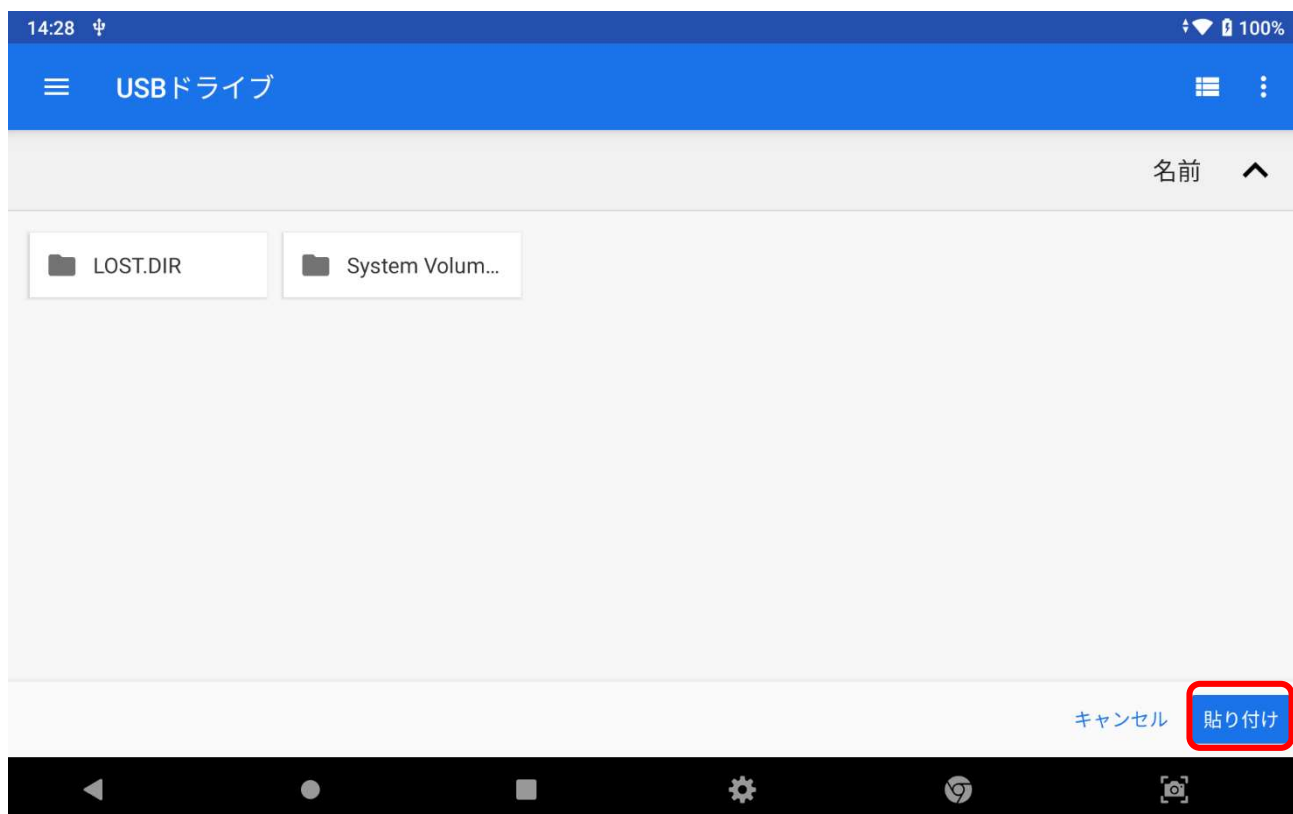
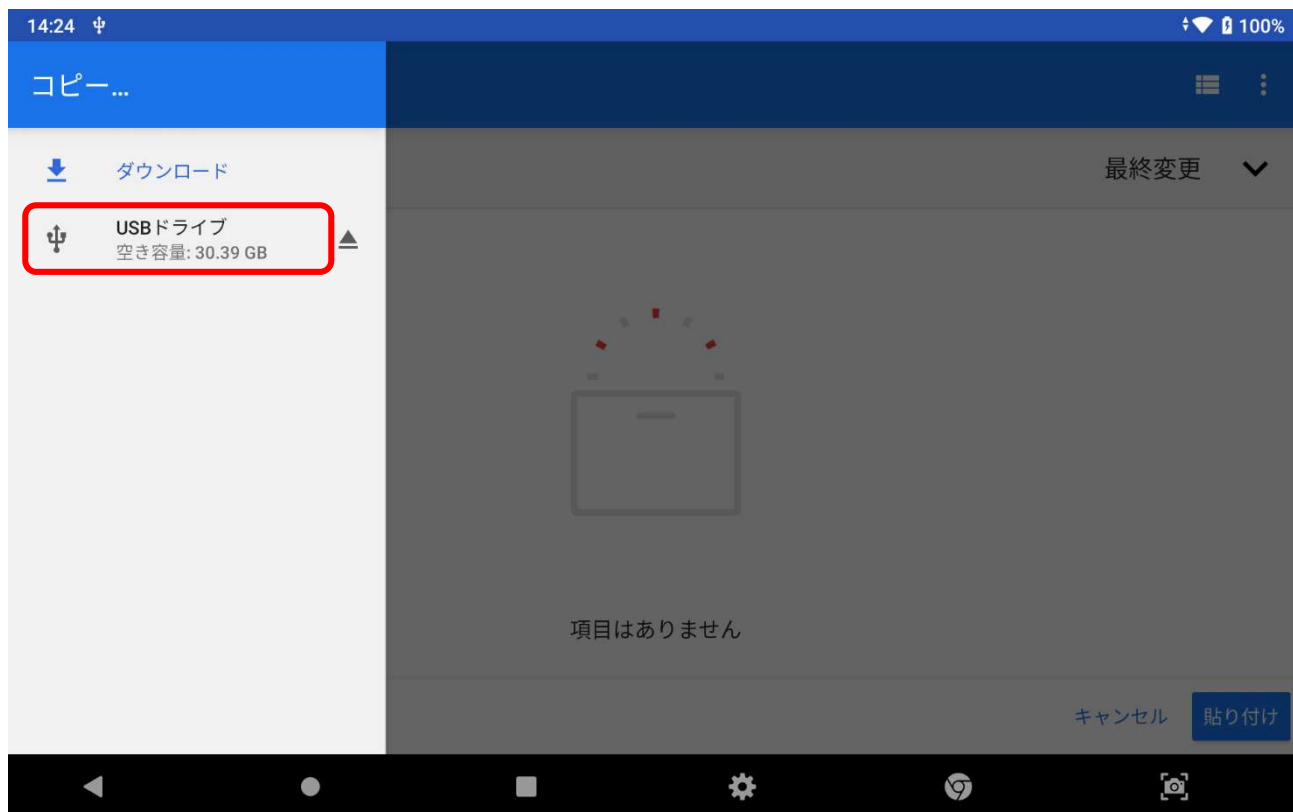
10. 画面左上に「1 個を選択中」と表示されたら、画面右上にある「メニュー」ボタンを押して「コピー」を選択

メニューボタン

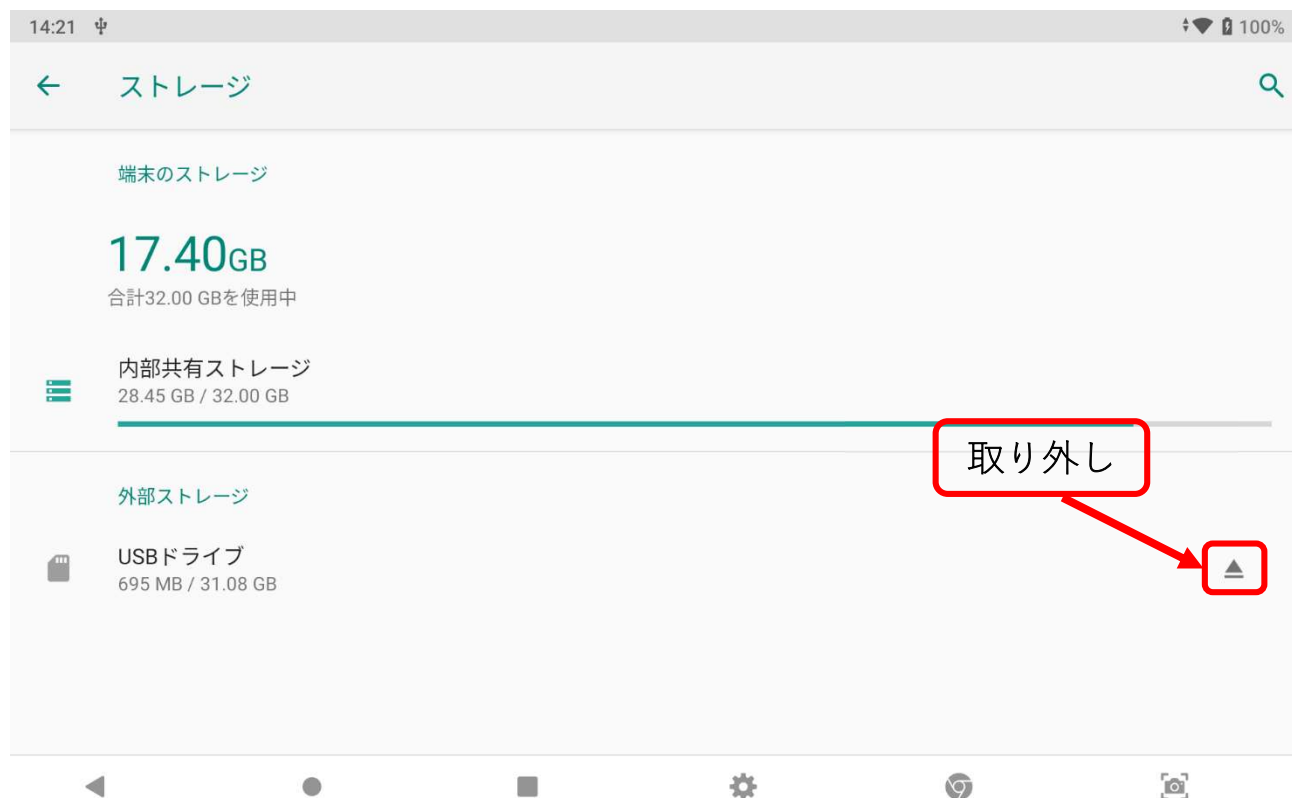


11. 保存先の選択画面が表示されたら、画面左上にあるアイコンを押して「USB ドライブ」を選択後画面右下の「貼り付け」を選択





1 2. 外部メモリを取り外す際には必ず G-scan Z 上で「取り外し」ボタンを選択してから取り外してください



1 3. 外部メモリをパソコンに接続することで保存した csv ファイルを閲覧できるようになります

